

総務文教常任委員会審査報告

平成24年12月11日
委員長 今村 定一

事件の番号	件名	結果
議案 72号	湯沢町歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	賛成少数

平成19年3月議会で湯沢町歴史民俗資料館(雪国館)の指定管理に移行する条例改正をしています。

曖昧な表現の部分や損害の責任等を明確にする条文の追加を含めた改正。

厚生福祉常任委員会審査報告

平成24年12月12日
委員長 佐藤 守正

事件の番号	件名	結果
議案 74号	国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	賛成全員
議案 75号	介護保険特別会計補正予算(第2号)	賛成全員
議案 78号	病院事業会計補正予算(第2号)	賛成全員

23年度の経常損失が4536万円に達したので、「保健医療センターの指定管理者による管理に関する協定書」の規定により管理協議会を開き、協議の結果、損失部分の2/3にあたる3000万円の補填をすることとなり、一般会計から支出をするもの。毎年1億2000万円補助金を出している。病院側が用意した決算概要が資料として添付された。

- ・医業収益が前年比4334万2000円と大きく減った。
- ・平成23年度は常勤整形外科医師が退職し、非常勤整形外科医師も確保できなかったため、外来診察日数で125日の減、年間患者数で3139人の減、一日平均25名の減となった。
- ・内科系外来も、年間1305人、一日平均4.4人の減。
- ・3階一般病棟の入院患者、年間527人、一日平均1.4名の減。
- ・4階療養病棟も年間770名、一日平均2.1名の減。
- ・人件費は1011万4000円の増。しかし、その他経費を合わせての医業費用全体は375万円増。

審査の結果 「全員賛成で可決すべきものと決定」

主な質疑

問 20年度以降赤字が続いているが、こういう形で赤字補填するのは初めてか。

答 損失補填は初めてである。これまででは累積の利益で赤字処理をしてきたが、病院の累積未処分利益が1億円を切って7000万円台になったので、傷を大きくしないためにも補填に踏み切った。担当課としては、病院の安定運営のために未処分利益は1億円前後の確保が望ましいと考えている。

問 収益減の理由は、人々が健康になった(これは病院の功績でもある)、人口が減った、嫌われた、しかないと思うが、健康福祉課はどう見ているのか。

答 患者が減った事が大きい。その理由を病院側と協議しているが明確にはならない。国保の支出は増えてはいないので、町民が医者にかからないのは事実だ。救急搬送も減っている。今後人口が減り観光客も増えない中で病院の経営努力が必要だ。